

# 令和2年度 第2回真庭市総合計画審議会 議事概要

日 時：令和2年7月6日（月）  
18時30分～20時30分  
場 所：エスパス会議室研修室  
参加者：別紙のとおり

## 1 開 会

## 2 議題

（人口ビジョンについて）

- ・ 目標と推計が混在している気がするからわからなくなる。きちんと共有した中で色々な施策を積み上げていくことが重要。
- ・ 人口構造バランスを人口が減る状態で一定にするということは可能なのか。出ていってしまう人が多いと高齢者がほとんどになってしまうのではないか。どのような施策をすればこれを食い止められるか、見当がつかない。
- ・ 今のビジョンで掲げる 2040 年に3万4千人を維持するということは希望的観測であつてもっと減るのではないかと思う。東京一極集中の是正といつても、東京がいいと思つているのは今も昔も変わらないと思う。
- ・ 高校に上がるときに、岡山市内の高校に行く人がけっこういる。そのまま、大学・就職と県外にいってしまう。もっと地元の高校が頑張つてほしい。岡山市内には特徴のある高校が多いのも出ていく要因。
- ・ 15歳まで地元でいた方と18歳まで地元でいた方の最終的に地元に戻る率は違う。ぜひ地元の高校に行つてほしい。  
→今は大学がない地域であるが、今後、美作大学の誘致、研究ゾーンとして岡山大学の誘致、国の研究機関の移転も視野に検討していきたい。
- ・ 親が地域を愛しているかどうかで大きく関わつており、そこが違つてくつと思う。

（全体的な方向性について）

- ・ 今のビジョンは格調が高すぎる。格調高いので地域の人々には実感がわからないということもあるのではないか。地域に落としこんで自分たちに実感として感じられるようなものにしていくのがいい。  
→具体的な事業を現在、各部会で検討中であり、WS などを通じてニーズをアクションプランに落とし込んで示していく。
- ・ 15歳から24歳の女性の人口が最重要課題であるのに、総合戦略の中には、文面が見えないのが残念。ここは昔から言われていること。高校で出て大学卒業したら帰つてきてねというのは、昔から問題視しているのに結局、問題となつて残つている。  
→「人口ビジョン」に記述し政策ターゲットを絞つている。行政としては基本的には全ての人に対する施策ということで実施してきたが、今回、特に若者・女性といった重点的なターゲットを絞つていくこととするのは、戦略の中でも示しアクションプランで具体策を出していく。
- ・ 関係人口は人口の定義を変える言葉だと思つている。エストニアではネット上の人口ということがある。ネット上で会社を登録すると関税が免除されるという仕組みがある。そういう取り組みも真庭市の関係人口の取り組みのひとつとして広めて、登録すると真庭市民と同等のサービスを提供していくといのはどうか。まずは真庭市を知つてもらうことが必要である。

- ・ 若い方は濃密な人間関係がいやだという人も多いと思う。それを逃れるために出ていってしまうのもあるのではないか。それを解決するのは難しい。

(各部会の状況について)

- ・ イメージ戦略は大事。豆原さんがスター街道を進んでいる。また、オートバイレーサーとして松岡さんが頑張っている。こういう方々のチカラも借りながら露出を増やしていくと真庭市のイメージも高くなっていくのではないか。
- ・ 若い人は稼げないと残れない。親や誰かに依存して生活していくことはできない。稼げる地域を持続するというのが大事だと思う。  
→雇用創出部会での課題。地域の総生産額の増大があって初めて雇用が拡大するという考えに基づき議論を進めていく。
- ・ 第一次産業は基盤であり非常に大事なポイントであり、このままいったら守れない。その基盤を真庭ライフスタイルに対して、具体的に何をやるのかしっかりと立て直してほしい。
- ・ 愛育委員も出向いて生徒に結婚・出産・子育ての大切さについて伝えることをしようと思っている。また、イクメン制度を真庭でも普及させてほしい。
- ・ 真庭市の教育予算は充実していると感じる。他の市にはない点が多い。
- ・ いのちふれあい事業については、廃止されることとなっている。大切な事業であると思うし、まだ全校で実施ということになっていない。また、対象を広げて小学校ではできないのか。
- ・ 医療業界でも出生数の減少が大きな課題。出生数が少ないと産科・小児科が成り立たない。
- ・ 職場の若い方が育児休暇を取るということを聞いてびっくりした。びっくりしたというのがあってはだめだと思う。これが当たり前になるように職場の意識も変えていかなければならない。家族全体で子育てをすることが重要  
→女性の地位向上、ワークライフバランスを考えることは重要だと認識している。

- ご意見については部会に伝え、その結果を資料にしてお送りすることとしたい。

## 6 その他

今回は9月頃の開催を検討している。その際は各部会からの状況報告、計画素案を提示したい。

ワークショップへの参加もよろしくお願ひしたい。

## 7 閉会